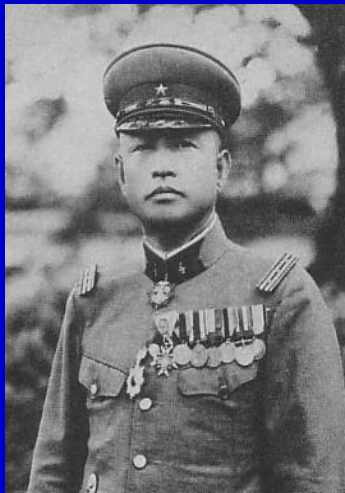


機関誌

# 戦略

★日本人の戦略的思考力を高めるために★

創刊号「特集・石原莞爾」



石原莞爾



ナポレオン



フリードリヒ大王

日本戦略研究協会「戦略大学」

責任編集 北岡俊明

## はじめに

本論文集は、機関誌「戦略」の創刊号として、石原莞爾を特集したものである。

石原莞爾は、日本が世界に誇る戦略家である。クラウゼヴィッツやジョミニに匹敵する。もし、昭和16年、石原莞爾が陸軍大臣か、参謀総長であれば、日米戦争は絶対に起きていなかっただろう。

石原莞爾は支那事変に反対した。日米戦争などは言語道断であると怒った。真珠湾攻撃やマレー半島の大勝利に湧いている時も、「この戦争は負けますな」と予測し予言していた。

ミッドウェー作戦の敗北も、海軍は徹底的に隠したが、石原莞爾はその敗戦を嗅ぎ取っていた。ガダルカナルに米軍が上陸した時、「攻勢終末点を越えているので、即時、撤退すべきである」と高松宮に提言した。

海軍には攻勢終末点という考えはない。軍艦に乗って、行け行けどんどんと、南の果てのガダルカナルまで行ってしまった。石原莞爾のような戦史・戦略の大家にとって、攻勢終末点とは戦略の常識であるが、海軍軍人にはまるで理解不能だった。

戦後、海軍は、よい子で善人になっているが、日本を破滅に導いた直接の責任は、山本五十六をはじめとした戦史・戦略オンチの海軍だった。軍艦に乗ってドンパチやる技術にかけては、日本海軍は世界の超一流だった。しかし、海軍には戦略的思考というものがまことに乏しい。

米国でも、英国でも、フランスでも、ドイツでも、一国の統合作戦の責任者は、普通、陸軍出身の将帥である。対独戦はアイゼンハワー陸軍大将、対日戦はマッカーサー陸軍大将である。しかるに、日本では対米戦という有史以来の非常事態を、山本五十六という一提督が担当した。そんなバカなことがあるものかと思うが、これが日本の統帥権独立の現実だった。

そうはいつても、陸軍でも、東條英機以下の将帥は、戦略的能力としては二流三流の人物だった。官僚型軍人としては優秀であるが、とてもじゃないが、大戦争を戦う将帥の器ではない。

日本の悲劇は、石原莞爾という不世出の戦略家を、陸軍の組織論が排除したことである。まことに日本という国は、凡人が天才を排除し、凡人が権力を握る。

この悲劇は、60数年後の今も変わらない。凡人・鳩山と凡庸・小沢のコンビが、この国の運命を握っている。昭和16年の悲劇の再来を防ぐために、今、石原莞爾を勉強する高い価値がある。石原莞爾は、数十年先を予測し予言した。我々はどうすれば、石原莞爾のような予測能力・予言能力をもち、混迷の日本の未来の戦略を構想することができるか、これが我々の最大の命題である。

石原莞爾という不世出の戦略家を勉強し、研究し、日本国のためにお役に立ちたいと、草莽は草莽なりの「草莽崛起」の精神で本論文を執筆した。

本論文は拙いものでありますがよろしくご笑覧くださいませ。そして、今後とも、よろしくご指導、ご教授を心からお願い申し上げます。

平成22年2月 北岡俊明

## 目 次

はじめに	1
石原莞爾に関する文献リスト	3
石原莞爾写真集	4
石原莞爾年譜	12
近世戦争進化景況一覧表	14
満州地図	16
石原莞爾・不世出の戦略家の軌跡 北岡俊明	17
満州事変にみる「言葉の達人」石原莞爾の独創力 青木恒	34
「最終戦争論」に秘められた国家戦略 長谷川賢二	39
戦略家・石原莞爾を育んだ人々 押田信昭	44
石原莞爾の夢 -United States of Asia- 竹内勇人	52
日蓮上人が石原莞爾の戦略能力を開花させた 正木隆	55
陸軍中將・石原莞爾の思想・人物像に迫る！ 予期せぬ人物との比較、そして最終戦争論を述べる！ 塚越幹夫	61
イフ！石原莞爾がビジネスマンだったら ★桁違いの行動力と勉強力★ 江原裕	65
本質を見た石原莞爾 金井健司	69
「勝てる戦略」を拒否したものは何か 小出大和	71
戦史と戦略を考究し最終戦争論を標榜した呑舟の魚 ～大東亜の盟主への試金石「満州国」を創造した天才戦略参謀～ 柳澤賢治	74
天才を育てる石原莞爾流勉強法 宇野英明	78
石原莞爾はクラウゼヴィッツを超えたか 黒崎浩	79
石原に学ぶ航空輸送戦略 辻俊昭	83

### 石原莞爾に関する文献リスト

- 石原莞爾「世界最終戦争論」中公文庫 1993年  
石原莞爾「国防政治論」聖紀書房 昭和17年  
石原莞爾「昭和維新論」東亜連盟協会 昭和14年  
石原莞爾「東亜連盟建設要領」立命館 昭和14年  
石原莞爾「ナポレオンの対英戦争」東亜連盟協会 昭和15年  
石原莞爾「満州国建国と支那事変」東亜連盟関西事務所 昭和15年  
石原莞爾「日蓮教入門」昭和24年  
石原莞爾「戦略論大系」芙蓉書房出版 2007年  
石原莞爾資料「国防論策」角田順編 昭和43年  
石原莞爾資料「戦争史論」角田順編 昭和42年  
高木清寿「東亜の父石原莞爾」錦文書院 昭和29年  
マーク・ピーティ「日米対決と石原莞爾」たまゆらぼ 1992年  
高山信武「昭和名将録2」芙蓉書房昭和55年  
佐治芳彦「石原莞爾・甦る戦略家の肖像」上下 昭和63年  
福田和也「地ひらく・石原莞爾と昭和の夢」文芸春秋 平成13年  
横山臣平「秘録・石原莞爾」芙蓉書房 昭和46年  
藤本治毅「石原莞爾」時事通信社 昭和39年  
奥田鑛一郎「師団長石原莞爾」芙蓉書房 昭和59年  
仲條立一「石原莞爾のすべて」新人物往来社 1989年  
上法快男編「石原莞爾の素顔」芙蓉書房昭和58年  
中村晃「哲人參謀石原莞爾」叢文社2003年  
山口重次「悲劇の将軍石原莞爾」大湊書房 昭和50年  
成澤米三「人間石原莞爾」経済往来社 昭和52年  
杉森久英「夕陽将軍 小説・石原莞爾」河出書房 昭和56年  
青江舜二郎「石原莞爾」中公文庫 平成4年  
今岡豊「石原莞爾の悲劇」芙蓉書房 昭和56年  
花輪莞爾「石原莞爾独創す 昭和維新とは何だったのか」新潮社 平成12年  
武田邦太郎・菅原一彪「永久平和の使徒 石原莞爾」冬青社 平成8年  
小松茂郎「陸軍の異端児 石原莞爾」光人社 平成3年  
楠木誠一郎「石原莞爾」PHP研究所 平成14年  
別冊宝島「軍人シリーズ 石原莞爾 満州国を作った男」宝島社 平成19年  
白土みどり「最終戦争時代論 石原莞爾の思想」邦文社 昭和46年  
白土みどり「石原莞爾の戦争放棄論」島津書房 昭和56年  
佐治芳彦「石原莞爾の予言」PHP研究所 平成15年  
石川正敏「最終戦争は回避できるか 石原莞爾の予言と思想」佼成出版社 昭和41年  
小林英夫「「日本株式会社」を創った男 宮崎正義の生涯」小学館 平成7年  
木村武雄「ナポレオン レーニン 石原莞爾」 国宝社 昭和46年  
田中秀雄「石原莞爾と小沢開作」扶桑書房出版 2008年  
戦史叢書 防衛庁防衛研修所戦史室「関東軍<1>」朝雲新聞社 一九六九年  
臼井勝美 「満州事変 戦争と外交と」 中央公論者 一九七四年  
臼井勝美 「満州国と国際連盟」 吉川弘文館 平成七年  
軍事史学界「再考・満州事変」錦正社 平成13年  
クリストフ・ソーン「満州事変とは何だったのか」上下 草思社1994年  
早瀬利之「石原莞爾 満州合衆国」光人社 平成15年  
早瀬利之「石原莞爾 満州備忘ノート」光人社 平成16年  
黄文雄「満州国の遺産」光文社 平成13年  
塚瀬進「満州国 「民族協和」の実像」吉川弘文館 平成10年